

# 市民の命とくらしを守れ!

## — 新型コロナウイルス 対策で申し入れ第4弾 —



申し入れをする宇都宮市議員団 (左から)原、天谷、福田の各氏

新型コロナウイルス感染症の、感染拡大が止まらない全国状況・そして栃木県の感染状況を見て、日本共産党宇都宮市議員団は第4回目となる緊急申し入れを市長に対して行いました。

- 1、この間のクラスター発生の経験を活かし、国待ちではなく市独自にPCR検査の対象拡大をはかること。
- \* 医療機関の入院時・手術前一般検査にPCR検査を導入すること。
- \* 介護施設特に外部からの出入りがある通所介護施設および訪問看護・訪問介護スタッフについては市の責任でPCR検査を実施すること。
- \* 市内の保育園に勤務する保育士および職員についてもPCR検査を実施すること。
- \* 市内の小中学校の教職員についてもPCR検査を実施

すること。  
\* 接待を伴う飲食業に勤めるスタッフについてPCR検査を実施すること。

2、拡大傾向にある感染者に対応するためにも、医師会で行っているドライブスルー方式のPCR検査センターを継続して実施していただくよう宇都宮市として働きかけること。そのための財政的支援をすること。

3、感染予防グッズについては特に医療機関・介護事業所は今後も数多く必要となることから自治体としても支援すること。自治体としての備蓄もはかること。

4、医療機関・介護事業者の減収による経営難の実態の把握につとめ、必要な支援をしていくこと。

5、アルバイトなどの収入が断たれ、経済的に困窮している市内在住の大学生に対して、食料品や経済的な支援を行うこと。

6、小中学校の一斉休校による学習の遅れ、子どもたちの心や身体に及ぼした影響について丁寧に実態把握を行うこと。また学校任せにせず、教職員の増員等の必要な措置を最大限とること。

## 志位和夫委員長熱く語る — 党創立から98年

日本共産党は今年7月15日創立98周年記念日を迎えました。記念講演では、志位和夫委員長が「コロナ危機をのりこえ、新しい日本と世界を―改定綱領を指針に」と題して、コロナ後の社会について熱く語りました。

### 共産主義に注目!

小林節氏  
講演に先立ちメッセージを寄せた憲法学者の小林節氏は、「共産党は明日にでも与党ができるような政策を掲げている。(中略)共産主義は正当に評価されるべき時が来た。」とも語り、「資本家の喜びのために富を増殖する資本主義ではなく、国の富の目的を国民の福祉に向ける共産主義に注目しています」と述べました。ほかにも翻訳家の池田香代子

氏、シエンダー研究家の岡野八代氏、政治学者の白井聡氏らがメッセージを寄せました。

**効率至上主義である新自由主義からの転換を!**

志位氏は、新自由主義が掘り崩してきた医療体制の充実をズバリ訴えました。また、志位氏は新自由主義からの転換、資本主義の体制そのものが問われているとも述べ、さらには、人類史の中でパンデミックを考えるなど、日本共産党が展望するダイナミックで壮大な世界観を示す記念講演となりました。

日本共産党のHPから講演を視聴することが出来ます。是非ご覧ください。



申し入れには手塚副市長が対応しました。懇談の中では、新聞にも取り上げられた医療機関の減収の問題や、子どもたちの少人数学級の必要性について具体的に要望しました。また、手塚副市長は、「PCR検査センターの継続については、市として検討をすすめている」と述べました。学生への支援についても、前向きに検討したいとも話していました。

日本共産党宇都宮市議員団 定例無料

## 市政・法律なんでも相談会

雇用問題・多重債務・生活保護・年金・国保・住宅  
道路・交通安全・その他なんでも・・・

◇日時 9月12日(土) 午後2~4時  
10月10日(土)

◇会場 宇都宮市総合コミュニティーセンター

◇連絡先 日中 TEL632-2622 (党市議員団控室)  
土・日・夜間 TEL634-8722 (党市委員会)

相談ご希望の方はできる限り事前にご連絡をお願いします。  
秘密厳守します。弁護士が協力します。  
※8月の相談はお休みします。